

Rotary Club of AMA weekly report.



2022～2023年度
国際ロータリーテーマ
**IMAGINE
ROTARY**
イマジンロータリー



2022-2023年度 RI会長 ジェニファー・E・ジョーンズ
第2760地区ガバナー 笹橋 美久
会長 臼井 幹裕 副会長 後藤 裕一
幹事 大西 晃弘
例会日 毎週月曜 例会場 名鉄グランドホテル
【公共イメージ向上委員会】
委員長 神戸 剛 副委員長 中澤 浩一
委員 船原 久尚・後藤義美・稲垣 秀樹・黒野晃太郎・渡辺 均

【事務所】〒453-0015 名古屋市中村区椿町17番16号 丸元ビル TEL(052)451-6617 FAX(052)451-6710 e-mail: kk01-ama@eos.ocn.ne.jp

2022年 12月 5日（曇り） 第1週 第2408回例会

Song ”君が代・奉仕の理想”
Guest 米山奨学生 朱 天齊さん

Attendance

会員	67名	欠席	13名	出席率	75.93%
----	-----	----	-----	-----	--------

President Time 臼井幹裕 会長



皆さん、こんにちは。本年度は、会長方針にて、例会を親睦の場、そして学びの場とすることを強調してお願いしています。「学び」という意味で、本日は適任の方に卓話をお願いできたと考えています。南川先生には、後ほどよろしくお願いします。

さて、以前に「学び」の始まりは、自らが興味・関心をもって取り組むことにあるという話をしました。その後、学びの対象を理解することになりますが、この「理解する」とはどういうことでしょうか。おそらく理解は、記憶と思考とに分けることができそうに思います。基本的な知識を記憶した上で、自分の頭で考えて、説明できるということが「理解」でしょうか。私は、もともと記憶力があまりよい方ではなかったのですが、20歳を過ぎたころからは、「記

憶力は高まっている」と自己暗示をかけています。また記憶という、どうしても頭に詰め込むことと考えますが、必要なときに思い出せないという意味がないわけですから、私は、就寝前にその日のことなどを思い出す作業をしています。そうすることで、「記憶力」が何とかキープできています。学生のころ使った語呂合わせも、記憶する工夫ですが、思い出しやすくするための方法だったのかも知れません。語呂と言えば、国会の権限を「検事より旦那」と覚えしました。「検」は憲法改正の発議、「事」は条約締結の承認、「よ」は予算の承認、「り」は立法、「旦那」は弾劾裁判所の設置、「那」は内閣総理大臣の指名です。今では何の役にも立ちませんけど。

最後に、本日は12月最初の例会ですので、定款・細則に基づき、次年度理事役員を選任のための年次総会を開催します。会員総数の3分の1以上の出席があり総会は有効に成立しています。本日机上に配布の候補者のとおりの指名委員会案をお諮りします。ありがとうございました。それでは、本日の会長挨拶は以上とし、せっかくですので、加藤春視次期会長に一言いただきます。よろしくお願いします。

Today	12月12日（第2409回）
担当	篠田耕伸 保健委員長
演題	卓話「Withコロナと医療と歯科」 保健委員会
Next Week	12月17日（第2410回）
担当	加藤文彦 親睦活動委員長
演題	年末家族会 親睦活動委員会（12/19例会振替）

Secretary Report

大西晃弘 幹事

- 1 ロータリーレートが12月1日より意ドル138円（11月148円）に変更となりました。
- 2 大西晃弘君が第1回米山功労者に寄付されました。
- 3 家田安啓君が第2回米山功労者に寄付されました。
- 4 河村昭利君が第1回米山功労者に寄付されました。
- 5 神野恭寿君が第1回米山功労者に寄付されました。
- 6 加藤文彦君が第1回米山功労者に寄付されました。
- 7 大竹敬一君が第5回マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、第4回米山功労者に寄付されました。
- 8 後藤裕一君がポール・ハリス・フェロー、第1回米山功労者に寄付されました。
- 9 稲垣秀樹君が第2回マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、第1回米山功労者に寄付されました。
- 10 加藤春視君がポール・ハリス・フェロー、第1回米山功労者に寄付されました。
- 11 次期準備理事会のご案内

日時 12月12日（月）18:00

場所 楓の間 名鉄GH 11F



米山奨学生 朱 天齊さんに奨学金贈呈

ニコボックス

ご投函有り難うございます

臼井幹裕 会長

南川文里先生の卓話を楽しみにしています。よろしくお願いします。

次年度理事・役員となられた皆様の準備、大変かと思いますが応援して参ります。

後藤裕一 副会長

同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授南川文里様、あまRCへようこそ。卓話、よろしくお願いします。

ニコボックスの皆さん、今夜のIDM、よろしくお願いします。

大西晃弘 幹事

同志社大学大学院南川教授、本日の卓話楽しみにしております。

加藤春視君

本日は次期役員・理事審議をよろしくお願いいたします。

青本道春君

友人に誘われ、江田島の海上自衛隊を見学に行きました。今でも日本の海を守る海上自衛隊幹部候補生を育てています。流石に海上自衛隊のエリート校だけに、規律正しく逞しい青年の集団で感動しました。帰りに海軍カレーをお土産に買いました。意外に美味しかったです。

後藤 眞君

愛妻へのバースデイ祝を有難うございました。うしろすがたのしぐれゆくのか。

家田安啓君

先週末、孫とホテル花水木に泊まりました。ささやかな幸せです。

大竹敬一君

年末を控えお金がないので、これくらいで勘弁してください。

高山 敏君

田中君、東海君、大変お世話になりました。

伊藤ペンちゃん何時も有難う。

田中正博君

12月3・4日とエクシブ浜名湖でゴルフをしました。

4日にエクシブ主催のコンペがあり、女房が優勝しました。運は怖いです。

伊藤英毅君

もう師走です。1年の過ぎ去るのが年々早くなります。

合掌。

板津和博君

ニコボックスの皆様、ご苦労様です。

児玉憲之君

先週の土日を利用して、秋田犬保存会本部展へ高知へ行って来ました。我が家の華ちゃん（秋田犬）のおじいちゃん「途中丸」が、成犬の部で一席を取りました。途中丸はフィギュアスケート金メダリスト、ザキトワに贈られた「マサル」と兄弟です。

黒川元則君

南川先生、本日の卓話、よろしくお願いいたします。

黒野晃太郎君

師走に入り、寒くなりました。体調管理が大変です。

水野 真君

野田さん、久しぶりのベテランの演奏、有難う。

小倉廣三君

南川文里教授、本日卓話、よろしくお願いいたします。

谷口充子君

社会奉仕委員会の食品寄付活動についてご案内させて頂きます。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

山田幹夫君

何にも良い事ないけど投函します。

横井久雄君

師走月です。1年は早いもの。お互い目標をもってガンバリましょう。

合 計 48,000円



「移民の国アメリカの現在」

同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科
教授 南川文里氏



現在、同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科で教育や研究に従事しています。アメリカ研究の専門家としての私の第一歩は、2001年から1年間、国際ロータリー財団の奨学生として、カリフォルニア州ロサンゼルス校のウェストウッド・ヴィレッジ・ロータリークラブに派遣いただき、カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）で学ぶ機会をいただいたことから始まりました。私を派遣奨学生に選出いただいたあまロータリークラブのみなさま、そして国際ロータリー財団に感謝申し上げます。

最初の留学以来、私は「移民の国」としてのアメリカをテーマに研究を進めてきました。現代のアメリカにとって移民は、以下の3つの点で重要です。

第一に、移民は、アメリカの人口構成を大きく変えようとしています。現在、アメリカ永住権を認められる新規移民数は年間100万人を超えています。その出身国は、メキシコ、インド、中国など、ラテンアメリカやアジアからの移民が多数を占めています。その結果、アメリカ合衆国の人口構成は、多数派である白人の比率が徐々に下がり、2020年の統計では白人の人口比率は約58%まで減少し、ラテンアメリカ出身の移民を中心とするヒスパニックが19%、アジア系が6%となっています。第二に、移民は、現代アメリカ経済の成長を支える原動力になっています。とくに、ITなどの専門職・技術職には、国外からの優秀な人材が導入され、シリコンバレーなどの技術革新と活発な企業活動を支えています。また、南西部の農業や大都市のサービス産業などの底辺を支える仕事にも多くの移民が従事しています。第三に、移民は、現代アメリカ政治の争点となっています。2016年大統領選挙では、ドナルド・トランプが、メキシコ国境とのあいだに壁を設置し、国内の「不法移民」の一扫を訴えて注目を集めて当選しました。移民をめぐる対立は、現代アメリカ政治の「分断」の一つと言われています。

この移民をめぐる変化と対立を、その歴史的背景から考えてみましょう。アメリカが「移民の国」という自己意識を持つようになったのは、建国から100年ほどたった19世紀の終わりでした。当時、ヨーロッパから年間100万人規模の移民労働者が、大都市の工場で働くために渡米しました。かれらは、鉄鋼や機械産業などの産業化時代のアメリカを支えました。20世紀前半に移住した人びとは、その後のアメリカの成長と発展の主役でした。第二次世界大戦

期以降の経済成長は、移民労働者とその子孫の生活を安定させ、かつての労働者階層は郊外で庭付き一戸建ての家を所有するミドルクラスとして、戦後アメリカの豊かさ、アメリカン・ドリーム象徴となりました。そして、1960年代以降、アメリカには第二の大量移民の時代が訪れました。20世紀後半以降の移民の出身地は、ヨーロッパからラテンアメリカやアジアへと移行し、これまで以上に多様な人種をアメリカに持ち込みました。新しい移民は、脱工業化やグローバル化の流れを反映し、ITや医療などの高度な専門的知識や技能を有する高度技能移民と、大都市のサービス業や地方の農業などを支える労働移民に二分されました。とくに、安い賃金で働き、解雇や採用が容易な非正規移民が多く流入しました。非正規移民とは、正規の滞在資格や就労資格を持たず、アメリカに滞在・就労する人びとで、現在およそ1050万人が住んでいると言われています。トランプは、この非正規移民を攻撃して支持を集めました。そして、トランプを支持した白人労働者階級は、かつての20世紀初頭に移民労働者として工場で働いてアメリカ経済を支えたヨーロッパ系移民の子孫を中心としています。かれらが働いた工場の多くは、グローバル化のなかで閉鎖や海外移転を余儀なくされ、かつての白人ミドルクラスは、不安定な状況に陥りました。その現状への不満が、新しい移民への攻撃的態度やトランプへの支持に結びつきました。強固なトランプ支持が続く一方で、アメリカの世論は、新しい「移民の国」像を受け入れようとしています。たとえば、ある世論調査では、「移民はアメリカによって良い存在である」という考えは「悪い存在である」を上回り、2019年には「よい」が全体の78%に達しました（「悪い」は18%）。また、非正規移民への対策としても、トランプが訴える「強制送還」すべきと考える人は全体の4分の1程度で、「アメリカ国籍獲得への道を用意する」「合法的な滞在を認める」が全体の70%を超えています。注目すべきは、トランプが所属する共和党支持者のあいだでも、「強制送還」を主張するのは3分の1程度で、約6割が国籍獲得や合法化を支持しています。

このように移民問題をめぐっては、移民に対して好意的な世論が形成され、「移民の国」としての新しい像が受け入れられつつあること、トランプとその支持者による移民反対論はそのような大きな流れへの抵抗として存在していることがわかります。アメリカの現在を理解するには、社会

全体の大きな変化と政治的対立の両方を、注意深く見る必要があると思います。

移民問題はアメリカ合衆国だけの問題ではなく、日本にとっても対岸の火事ではありません。移住者や多様性に直面する社会としての日本の未来像を、アメリカの経験から考えてみることも重要ではないかと考えています。本日はありがとうございました。

委員会報告

米山記念奨学委員会

副委員長 稲垣秀樹君

国際ロータリー第2760地区2022-23年度 クラブ米山奨学委員長会議・第26回米山奨学生学友会（愛知）総会が、9月22日（木）ホテルメルパルク名古屋で行われました。

第1部は、籠橋美久ガバナー、神野重行米山記念奨学会常務理事、伊藤靖祐米山記念奨学会評議員のご出席を始め、各クラブの会長、幹事、委員長、カウンセラーが参加。そして、よねやま親善大使 アデュアヨム・アヘゴ・アクエティ氏（トーゴ出身）による義肢装具自立支援活動を通して米山奨学事業の推進とさらなる理解促進について、特別基調講演が行われました。第2部は、米山学友会（愛知）の第26回目の総会に、奨学生、学友、大学指導教員の先生方も加わり、学友会総会開催、次年度の役員発表や会計ならびに事業報告を承認。第3部は和やかな雰囲気の中、ロータリアンと米山奨学生との親睦を深めました。

